

平成24年10月24日

各 位

会社名 株式会社ピーエスシー  
代表者名 代表取締役社長 相原 輝夫  
(コード番号: 3649)  
問合せ先 取締役管理部長 藤田 篤  
(TEL. 089-947-3388)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年2月14日に「平成23年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました平成24年12月期通期の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

#### 1. 平成24年12月期通期の業績予想数値の修正 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	1,883	523	522	318	76.75
今回発表値 (B)	1,910	665	665	411	96.32
増減額 (B-A)	27	142	143	93	—
増減率 (%)	1.4	27.2	27.4	29.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年12月期通期)	1,543	402	395	221	55.99

(注) 前回予想及び前期実績の1株当たり当期純利益は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っているため、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

#### 2. 業績予想数値の修正の理由

平成24年12月期第3四半期累計期間においては、代理店の販売が好調であったことに加え、直販においてはソフトウェアメーカーとして高利益率の確保に向けた販売方針を推進し、ハードウェアの取扱いを最小限に留めソフトウェアの販売に社内ヒューマンリソースを傾注したことにより、仕入に係る費用の圧縮が可能となりました。

また、Web/ローカル連携ツールRemoteCAPにより、ローカルシステムであるDocuMaker(※1)とWebシステムであるC-Scan(※2)の連携を強化したことで、DocuMakerとC-Scanを併せて導入するケースも増加し、1案件当たりの導入規模が拡大した結果、ソフトウェアの販売増加に繋がりました。

これらを要因として、前回予想における想定よりも高い利益率を実現し、業績予想を上回る見込みとなりましたので、上方修正いたします。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

※1. 院内ドキュメント作成/データ管理システムDocuMaker

※2. 紙カルテ/デジタル文書統合アーカイブシステムC-Scan

以 上